

高橋はるみ知事が東川にふるさと訪問

9月9日、高橋はるみ知事が知事のふるさと訪問として東川町を訪れ、新たに移住した町民と昼食を交えて懇談しました。



会場はカール・ウイルコックさん経営のコーヒーショップ店、ロースター・コースター(南町1)。

ウイルコックさんは来日18年目。10年前に転入しました。「みんなの考え方がヨーロッパみたいで外国人でも目立たないし、住みやすい」と多様性を認める住みやすさを感じています。

宇田川さんは、10年前あこがれて北海道に来ました。「でも思うように仕事がない。それで趣味のパン焼きを仕事にしました。小さい町なのに、いろいろなのが先進的です」などと町の感想を話しました。



好天で盛況、秋のくらし楽しくフェス

9月3、4の2日間、キトウシ森林公園で第61回くらし楽しくフェスティバルが開かれました。

開期中2日間とも夏日に恵まれ、会場を散策して汗ばむほど。秋の収穫シーズンとあって大根、ニンジン、ジャガイモ、トウモロコシ、りんご、ハダンキョ、枝豆など、たわわに実った農作物が格安で産直店にどっさり並びました。毎回出店している宗谷管内浜頓別町からも秋サケ、殻付きホタテなど新鮮な海の幸がいっぱい。砂金採り体験コーナーは子どもたちにも毎回の人気でした。

子どもたちは成長が早いので、衣類や遊び道具は買い替えサイクルも早いのが特徴。不要になった衣類、雑貨

東川生まれの米山さんは「結婚13年目で札幌から戻りました。大人になってから自然の雰囲気、自分の感性とともにあることの大きさが分かった」などとふるさとへの思いを話しました。

中川さんは千歳生まれ。プロスノーボーダーとして活躍後、バックカントリーの魅力に引かれて移住。自然ガイドとして活動しています。「この山には観光として大きな資源がある」とアピールしました。

豊作、つげんまつり

8月28日、東川町農協の駐車場周辺特設会場で第14回つげんまつりが開かれました。

出来秋を祝う恒例の収穫祭。好天にも恵まれ、大勢の家族連れが次々と来場しました。旭川の卸売市場・キョクイチの職員がせり人となって開いた相対取引・せり売りは、来場者が買い手

ゲーム類などを持ち寄って出店するリサイクル市は、掘り出し物が見つければ安価で欠かせない存在。衣替え時期と重なって、冬物が数多く並ぶ会場は、日本語を学ぶために来町している各国からの留学生、研修生も数多く訪れ、家族連れや外国語が飛び交うにぎわいを見せました。

会場中央のイベントスペースでは、リズムの良いアフリカンサウンドを披露した「パーカッション・ユナイテッド・バクトゥー・アフリカ」の一行が今春に続いて来町。よさこい上川中央支部所属のチームが出演したよさこい踊りは旭川、愛別、東神楽などから過去最高14チームが出演して喝さいを浴びました。

元気で祝い、敬老会

9月18日、老人保健施設・ひだまりの里(本村勝昭施設長)、特別養護老人ホーム、羽衣園(森田栄園長)で1日早い敬老会を開きました。

ひだまりの里では今年、町内9人のうち6人が元気に100歳を迎えました。松岡市郎町長は「人生の居場所が

東中吹奏楽部が全道金賞

東川中学校吹奏楽部(顧問・真部卓先生、29人)が全日本吹奏楽連盟主催の第61回北海道吹奏楽コンクール(9月1-4日・札幌コンサートホールKitara)の中学校の部B編成(上限30人)で全道金賞を受賞しました。



あったそうです。東日本大会の代表までとわずかの差でした。演奏曲は同コンクール曲としてよく演奏されるといふ「呪文と踊り」(J・B・チャンス作曲)。真部先生は「コンクール曲として有名過ぎる曲なので、高い評価がなかなかつかない。でもこれがベスト」と選んだそうです。

B編成全道出場は、平成18年以来10年ぶり2回目。金賞は、第55回大会(平成12年)C編成の部(上限25人)以来6年ぶりの快挙。出場27校中、金賞は7校。そのうち3校が北海道代表になり、東中吹奏楽部は審査員7人中、2人から推薦が

となつて野菜や果物などを競り落とすせり販売。トウモロコシ、ジャガイモ、パインアップル、メロン、秋サケなど新鮮野菜、秋の風物・秋サケが一声半値以下という安値も。

目玉イベントは、町内の飲食店、農協青年部、同女性部12店が味を競った「食グランプリ」。東川米と野菜、大雪旭岳源水を使って自慢の一品を開発。特製屋台の味を人気投票で競いました。



FIFAグラスルーツフェスティバル

9月22日、JFA(日本サッカー協会)が主催して東川ゆめ公園サッカー場で「FIFAグラスルーツフェスティバル」を開きました。



キッズサッカーを指導する立場の人のための指導者研修と、サッカーを経験したことのない子どもたちにボールを蹴る楽しさを覚えてもらおうと魅力を伝える2つの狙い。

指導者講習は19日から4日間開かれました。全国から指導者26人が参加。子どもたちへの指導法、接し方、地域リーダーとしての心得、地域フェスティバル開催のための方法論などを学びました。

あることは最高」と皆さんの長寿を祝いました。

席上、松岡町長は100歳の6人を代表して堀井ヤエさんに安倍晋三内閣総理大臣からのお祝いの銀杯を伝達しました。家族約100人が来園職員が出演するゲームや



この日は、学んだ知識を実践するための子ども参加の体験フェスティバル。地元、東川サッカー少年団はもちろん、旭川市と周辺町、稚内市、猿払村など道北各地の5、6歳の幼児から小学4年生以下の男女約300人が参加しました。

人工芝グラウンド、天然芝コート全面を使ってボールをコントロールする楽しさを体験し、ミニトーナメントゲームも。イギリスからFIFAグラスルーツ・インストラクターのジェイミー・ホーチェンさん(47)も来場しました。

今年が7回目。初めての北海道会場として東川開催が実現しました。

長生き体操と一緒に楽しみました。毎年ボランティア演奏に来園している昭和音楽大学OBのピッコロの会(伴美由紀会長)が今年も昔懐かしい曲を演奏プレゼントしました。